



Kumamoto City

## News Release

令和6年(2024年)6月12日

### ともあい泥リンピックを開催します

白川沿いに広がる託麻北校区の水田地帯は、熊本地域の大きな涵養地域であり、菊陽町への半導体産業の進出に伴い注目される、地下水保全に重要な役割を担っています。

この役割を知っていただき、自然に触れ合う機会の創出を目的として、ともあい泥リンピックを開催しますので、下記のとおりお知らせします。

1 日時 令和6年(2024年)6月15日(土)9時30分～13時00分

※小雨決行(荒天時は中止または翌16日(日)の同時刻に延期)

2 場所 東区上南部4丁目10付近の田んぼ

3 共催 託麻北校区自治協議会・熊本市

4 内容 別添チラシのとおり

5 参加者 託麻北校区民

#### 【お問合せ先】

都市建設局 森の都推進部 花とみどり協働課

電話:096-328-2352 FAX:096-328-3377

メール:hanatomidori@city.kumamoto.lg.jp

課長:吉田(よしだ)、副課長:永野(ながの)

TAKUMAKITA 託麻北便り

# ともあい 泥りんピック大会

令和6年

6月15日(土) 予備日:6月16日(日)

受付:午前9:00 開会午前9:30~午後13:00

上南部町内のかん養水田

小雨決行(ただし雷雨・大雨予想の場合は中止または延期)

競技種目

そりりレー

フラグキャッチ+徒走

田んぼ徒競走



○託麻北校区には、昔から白川に沿って広がる水田地帯があります。加藤清正の治世時代に馬場楠堰(ばばくすせき)から鼻ぐり井手を経て、託麻北校区を通る水路が設けられました。その水路は水田のかん養の源になっており、水を引き今もお米の生産が続けられています。近年、生産農家の高齢化に伴い休耕田が増加しましたが、休耕した田んぼのかん養は続けられ、くまもとの水の保全を担っています。近年、菊陽町に進出した半導体産業の使用水に見合う地下水保全が大きく取り上げられ、水の保全に取り組む農家・農業は、ますます重要な役割を果たします。託麻北校区の農地は、熊本市の水の保全に重要な役割を担っていることをもっと多くの方に知っていただき、かん養田に直接触れていただく機会としてこの大会を開催します。



参加申込者・関係者は緊急連絡網に登録してください  
子供単独での参加はできません

問合せ: 080-2725-9945

託麻北校区自治協議会

共催: 託麻北校区自治協議会・熊本市  
協力: 供合地域農地・水・環境保全組織  
供合地区農区組織・営農組合組織  
供合アグリ組織・JAくまもと東部支店

協賛: JA熊本果実連  
らくのうマザーズ